

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	じん肺有所見者に対する普及定着事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度開始		担当課室	労働衛生課		椎葉茂樹		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	不可逆性の疾病であるじん肺について、衛生管理者等に対してじん肺有所見者に対する教育指針の普及啓発を行うことは、労働者のじん肺予防対策の推進として必要不可欠である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国主要都市において、講習会を開催し、主に粉じん作業を行う事業場の衛生管理者等に対して、「じん肺有所見者に対する教育指針」が各事業場において定着するよう普及啓発を行うと共に、じん肺の基礎知識及び粉じんばく露防止対策について専門家からの講義を行い、じん肺有所見者に対する適切な健康管理と、粉じん障害防止対策の更なる徹底を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	3	2	10	3	3	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	3	2	10	3	3		
	執行額	3	0.5	4				
執行率(%)	100%	25	40					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	研修後の参加者アンケートにおいて、本研修が有意義であったどうかを問う設問に対し、「有意義である」「概ね有意義である」と回答した者の割合を、全回答者数の80%以上とする。		成果実績	%	-	-	80	80
			達成度	%	-	-	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	参加人数を一会場あたり45人以上とする。		活動実績 (当初見込み)	人(一会場当たり)	63	67	43	-
単位当たりコスト	9,611 (円/参加人数)		算出根拠	執行額 / 参加人数(全11会場合計) = 4,113,328 / 468 = 9,611円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4	0.4					
	旅費	0.4	0.4					
	庁費	2.4	2.4					
	消費税	0.1	0.1					
	計	3.3	3.3					

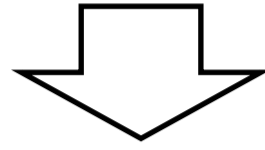
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	現在でも毎年250名前後のじん肺新規有所見者が出ていることから、これらの者に対する健康管理上の留意点等を事業場の衛生管理者に対して説明することは、国民からのニーズにも資するものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	じん肺の健康管理については、国が責任をもってその制度の運用にあたるべきものである。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	当初は、研修を47都道府県で実施することとしていたが、入札がなかったことから、規模を縮小して実施したため。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札(最低価格落札方式)で実施した。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	昨年度における一会場当たりの参加人数が、一昨年に比べて減少したことから、参加人数増加の為の取り組みが必要となる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	事業場の衛生管理者等に対してじん肺有所見者の健康管理等の徹底を図る事業であり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	研修実施関連業務以外への支出はない。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	研修形態で行うことは、多くの事業場に健康管理上の留意点を普及定着させるにあたって、実行性の高い手段である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	毎年、参加者の満足度は高く、またアンケートにあった要望を次の年度の仕様に活かすようにしている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	仕様書で示したとおりの活動が行われた。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	研修会テキスト等は労働者の健康管理に活用されている。
点検結果	単位あたりのコスト削減には、参加人数の確保が重要であるとする。参加者募集にあたっては、当該教育が必要とされる業種や事業場を絞って参加案内を行う等により、効率的に参加者数を確保することとしたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	労働者のじん肺予防対策の推進のための事業であり、本事業の必要性の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき(必要な予算措置に努めること)。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	650-27	平成23年行政事業レビュー	0946

※平成23年度実績を記入

じん肺有所見者に対する教育指針の普及定着

厚生労働省
4百万円(平成23年度精算額)

事業管理・受託者への指導



【一般競争入札】

A 株式会社ヒップ
4百万円

「じん肺有所見者に対する教育指針」に関する研修実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.株式会社ヒップ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	講師謝金	0.4			
旅費	講師旅費、スタッフ旅費	0.7			
会場設備費	会場費、備品レンタル代	0.5			
事務費	報告書、テキスト印刷、案内状郵送	1.9			
人件費	スタッフ人件費	0.4			
消費税		0.2			
計		4.1	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ヒップ	「じん肺有所見者に対する教育指針」に関する研修実施	4	4	40%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					